

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 10社会福祉施設費

◎福祉センターの経費

福祉センター管理運営事業

福祉政策課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保持を図るため。

効果 利用者の利便性向上のため、適切な施設の管理を行う。

【事業の内容】

(1) 福祉センター管理運営事業

- ・福祉センターの効率的な管理運営を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52,229	53,969	53,911		58

主な支出内訳

・福祉センター管理運営事業

維持管理用消耗品費	213
光熱水費	11,464
維持修繕料	2,166
消防設備・非常用警報(放送)設備保守点検手数料	205
自家用電気工作物保守点検手数料	174
熱源機器保守点検手数料	908
昇降機保守点検手数料	668
受水槽法定点検等手数料	520
総合管理業務委託料	36,557
警備業務委託料	363
自動ドア保守点検委託料	187
電話設備保守点検委託料	139
樹木伐採業務委託料	210

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 施設及び設備の大規模な修繕が必要である。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 必要な修繕箇所を把握するため、建築住宅課の点検を受けた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 点検結果で、指摘された事項のうち、修繕できない箇所があった。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 修繕の必要な箇所の把握ができたことから、順次、修繕を進めていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	修繕の必要な箇所から、適切に対応していく。				
担当課長氏名:		福祉政策課長 山本 賢次			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	修繕の必要な箇所から、適切に対応していく。				
担当部名	健康福祉部	部長名	石井 和子		